平成26 年 5 月 14 日

各　　位

井関農機株式会社

平成 26 年 3 月期 連結業績 補足資料

（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

1. 通期業績

（億円：%）

	25/3 期 実績	26/3 期 実績	増減 金額	増減 率	26/3 期 予想	予想比 増減
売　上　高	1,557	**1,691**	+ 134	+ 8.6	1,700	△ 9
国　内	1,330	**1,429**	+ 99	+ 7.5	1,440	△ 11
海　外	227	**262**	+ 35	+ 15.5	260	+ 2
売上総利益	481	**527**	+ 46	+ 9.5	521	+ 6
粗利率	30.9%	**31.2%**	+0.3%	−	30.6%	+ 0.6%
販　管　費	430	**453**	+ 23	+ 5.4	454	△ 1
営 業 利 益	51	**74**	+ 23	+ 43.3	67	+ 7
金融収支	△ 7	**△ 8**	△ 1	−	△ 7	△ 1
他営業外	10	**17**	+ 7	−	16	+ 1
経 常 利 益	54	**83**	+ 29	+ 53.0	76	+ 7
特別利益	4	**1**	△ 3	−	1	0
特別損失	△ 3	**△ 5**	△ 2	−	△ 3	△ 2
税 前 利 益	55	**79**	+ 24	+ 44.3	74	+ 5
税,税調整額他	△ 15	**△ 15**	0	−	△ 19	+ 4
当期純利益	40	**64**	+ 24	+ 62.0	55	+ 9

1）前期比

(1)売上高：前期比 134 億円増収（＋8.6%)の 1,691 億円

・国内売上高は、前期比 99 億円増収（＋7.5%）の 1,429 億円。

農業機械は、経営所得安定対策の定着等による農家所得の改善、農業関連予算の増額に加え、今年 4 月からの消費税率引き上げに備えた駆け込み需要等を背景とした旺盛な需要により、トラクタを中心に全体で 54 億円の増加。

作業機も連動して 41 億円増加。

・海外売上高は、前期比 35 億円増収（＋15.5%）の 262 億円。

製品地域別には、北米市場は一昨年から出荷開始したユーティリティトラクタの投入効果などにより 36 億円の増加。中国市場は、田植機を中心に 3 億円増加、欧州市場は年度前半の需要低調が響き 1 億円減少し、豪州で 1 億円の増加。

(2)営業利益：前期比 23 億円増益（＋43.3%）の 74 億円

経常利益：前期比 29 億円増益（＋53.0%）の 83 億円

・営業利益は、増収および円高是正による収益改善効果が、開発費や設備費などの固定費の増加や販管費の増加を上回り、23 億円増益の 74 億円。

・経常利益は、営業利益の増加に加え為替差益の発生等により、29 億円増益の 83 億円。

(3)税前利益：前期比 24 億円増益（＋44.3%）の 79 億円
当期純利益：前期比 24 億円増益（＋62.0%）の 64 億円

・税前利益は、昨年発生した松山製造所の火災に伴う保険金の受取や東京電力からの震災関連補償金の減少、固定資産減損損失計上等があったことにより 24 億円増益の 79 億円。
・当期純利益は、前期比 24 億円増益の 64 億円。

2) 予想比増減

(1)売上高：予想比△9 億円（国内△11 億円、海外＋2 億円）

・国内売上高の施設工事において、大型施設工事の完成遅れがあったほかは、国内および海外ともに、ほぼ予想通り。

(2)営業利益：予想比＋7 億円
経常利益：予想比＋7 億円

・営業利益は、営業および製造関連会社の収益好転による粗利益の増加や販管費の減少などにより、予想比 7 億円の増加。
・経常利益は、予想比 7 億円の増加。

(3)税前利益：予想比＋5 億円、当期純利益：予想比＋9 億円

・税前利益は、予想比 5 億円の増加。
・当期純利益は、予想比 9 億円の増加。

3) 配当：1 株当たり 4 円の期末配当予定

・平成 26 年 2 月 7 日発表「平成 26 年 3 月期配当予想の修正に関するお知らせ」の通り。

(売上内訳)　　(億円)

	25/3 期 実績	26/3 期 実績	増減	26/3 期 予想	予想比 増減
農業機械	671	725	＋ 54	722	＋ 3
作　業　機	175	216	＋ 41	213	＋ 3
補修用部品	146	145	△ 1	147	△ 2
施設工事	78	77	△ 1	88	△ 11
その他農業関連	259	266	＋ 7	270	△ 4
農業関連事業計	1,329	1,429	+100	1,440	△ 11
その他事業	1	0	△ 1	0	0
国　内　計	1,330	1,429	＋ 99	1,440	△ 11
北　米	65	101	＋ 36	101	0
欧　州	53	52	△ 1	54	△ 2
中　国	67	70	＋ 3	71	△ 1
その他アジア	15	15	0	14	＋ 1
豪　州　他	5	6	＋ 1	5	＋ 1
製　品　計	205	244	＋ 39	245	△ 1
補修用部品	12	13	＋ 1	12	＋ 1
そ　の　他	10	5	△ 5	3	＋ 2
海　外　計	227	262	＋ 35	260	＋ 2
合　　計	1,557	1,691	+134	1,700	△ 9

2. 平成27年3月期　通期連結業績予想

［業績予想の考え方］

・国内における経済対策や金融政策、円高の是正による輸出環境の改善等を背景とした景気浮揚への期待感はあるが、平成26年4月からの消費税率引き上げ後の景気腰折れが懸念されている。海外においては、米国景気の回復傾向があるものの、欧州や中国での景気回復が想定より遅れ、この影響で世界経済全体としては低調に推移しており、経営環境は依然として厳しく不透明な状態にある。

・国内は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動が懸念され、国内農機需要は減少するものと想定されるものの、農業に関する大型予算が計画されるなど、農業活性化に向けた取り組みが期待されている。低コスト・省エネ農業機械の販売やサービス力の強化に加え、お客様の農業経営に合った営農提案（サポート力）を強化し、売上の拡大を図る。

・海外は、欧州市場・北米市場へ顧客のニーズに合わせた戦略商品を投入し市場拡大を図る。また、中国市場においては中国子会社が事業統合により持分法適用会社となることから、連結決算上の海外売上高は減収となるが、持分法適用会社を含むグループ全体の海外売上高では、増収を見込む。

・収益面は、為替円安による効果等があるものの、減収やインドネシア生産子会社の操業開始に伴う初期費用の発生等による粗利益の減少や、前期発生した為替差益がなくなること等により、減益を見込む。

平成27年3月期　通期連結業績予想　（億円：%）

	26/3期 実績	27/3期 予想	増減 金額	増減 率(%)	25/3期 実績	増減 金額	増減 率(%)
売上高	1,691	**1,650**	△ 41	△ 2.4	1,557	+ 93	+ 6.0
国内	1,429	**1,420**	△ 9	△ 6.9	1,330	+ 90	+ 6.7
海外	262	**230**	△ 32	△13.7	227	+ 3	+ 1.6
営業利益	74	**55**	△ 19	△25.4	51	+ 4	+ 6.9
経常利益	83	**51**	△ 32	△38.4	54	△ 3	△ 5.8
当期純利益	64	**26**	△ 38	△59.7	40	△ 14	△34.7

想定為替レートは、対米ドル101円、対ユーロ140円。

なお、平成27年3月期の配当は、1株当たり3～4円の期末配当を予定。

(ご参考)

持分法適用会社を含むグループ全体の海外売上高予想（億円：%）

	26/3期 実績	27/3期 予想	増減 金額	増減 率(%)
海外売上高	268	**315**	+ 47	+ 17.5
海外売上高比率	15.8%	**18.2%**		

以　上